

総合的な学習 全学年 単元名「 船の仕事について学ぶ 」(4 時間)

1 単元設定の理由

日頃の生活では海運のお世話になっているが、どのような人がどのような仕事をしているのか、知らないのが現状である。実際に海にかかわる職業人を養成する学校の状況や体験を通して、人や自然、そして社会と海がつながっていることを、実感を伴って理解させ海を身近に感じられるようにする。

2 単元目標

- 日本の海運の状況について知らせる。
- 海運にかかわる職業人を養成する学校の様子を体験を通して知る。

3 単元の評価基準

- 日本の海運の状況を知ることができる。
- 海運に関する仕事に携わる仕事を目指す若者の姿から自分の生き方を考えることができる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	日本の海運の状況を知る。 船の仕事の実際を知る。(1日・1年間の仕事のスケジュールや休暇・待遇など) 船員になるにはどのような進路(学校)を選んだら良いのか知る。	統計資料や紹介ビデオを使って具体的に説明する。
2～4	広島丸見学 緊急時の対応について 救命胴衣の付け方や非常食について知り、体験する。 操舵室の見学 船の運航に必要な機器や運航に必要な操作について知る。 機関室の見学 船を動かす動力装置や住環境を守る装置について知る。	安全に留意し、係の方の指示従うように指導する。 積極的に質問したり、体験をさせる。
外部連携 / 教材等 広島商船高等専門学校教職員 練習船「広島丸」		